

ぎかいのとびら

 ひおき市議会だより

3月定例会 主な内容

平成26年5月 第36号

- 平成 26 年度当初予算 …………… P 2
- 陳情・意見書の審査状況 …………… P 5
- 一般質問 …………… P 8
- 所管事務調査結果報告 …………… P 15
- 追跡「あんこちゃ どげんなった」 …… P 16
- 議会報告会報告 …………… P 18
- インターネット中継案内／編集後記 … P 20



新学期 みんなで仲良く元気に登校中(伊作田小学校)

市政10年目へ 人と環境に やさしい予算

総額231億1000万円

3月
議会

津波ハザードマップ作成

640万円

津波災害等の被害軽減を図るため、避難経路・避難場所等を表示した地図を作成する。

イメージキャラクター制作

150万円

市政10周年を迎えるにあたり、新たなイメージキャラクターを作成して、日置市の情報を発信する。

消防救急デジタル無線整備

1億5400万円

消防救急活動の高度化や電波の有効活用のためアナログ通信からデジタル化への整備を行う。



消防署指令室

県茶業振興推進大会

470万円

平成28年度に日置市開催予定の大会に向けて技術向上、茶園管理、準備委員会の設置等を行う。

人づくり支援事業

500万円

ブックスタート事業の充実や市立図書館の利用者拡大および市民の利便性向上を図るため、4館統一の貸し出しバッグの整備等を行う。



ブックスタート

庁舎整備事業

6200万円

日吉支所、日吉中央公民館の建て替えを行うための設計、法面工事等の整備を行う。

乳幼児(子ども)医療費助成

1億200万円

10月診療分から医療費助成の対象を小学校6年生までに拡大し、助成を行う。(9月までは小学校就学前までの子どもが対象)

住宅用太陽光発電システム設置

900万円

平成26年～28年度に太陽光発電設置補助金を交付する。



太陽光パネル

公営住宅建築事業

5500万円

美山、江口、永吉、土橋地区に新規公営住宅を建設

小学校校舎改築事業

1億2800万円

伊集院小学校特別教室等の改修工事と伊作小学校の改築のための設計を行う。

伊集院駅周辺整備

7億4300万円

橋上駅舎、自由通路、南・北口広場、駅西側駐車場の整備を行う。完成は27年度末を予定。



伊集院駅

3月定例会は、2月27日から3月27日まで開催されました。平成26年度当初予算は、宮路市長の施政方針及び予算説明の後、3常任委員会で審議を行いました。審議の結果、26年度当初予算231億1000万円は、原案のとおり可決しました。26年度予算のお金の使い道を一部ご紹介します。

市民の願い陳情を審議しました

TPP (環太平洋連携協定) 交渉に関する陳情書

(陳情書の趣旨) TPP交渉における国会及び自民党の決議は、実質的な政府方針であり、農林水産業のみならず、食の安全、医療、保険、ISD条項など、国民生活に直結することから国民に対する情報開示は不可欠である。

(提出者) さつま日置農業協同組合
代表理事組合長 宇都 清照氏 (伊集院町下谷口) 他

(審議の結果) 農業を基幹産業とし、中山間地域が大部分を占める本市にとっても、除外品目の堅持は必須であり、農業の衰退は地域社会の崩壊を招く。政府は毅然とした姿勢で交渉を進め、国民への情報開示をすべきと全員一致。

全会一致

採択することに決定



陳情書を採択したことにより、議員発議で意見書を提案しました。

TPP (環太平洋連携協定) 交渉に関する意見書

(意見書の内容) 衆参両議院の農林水産委員会や自民党は、
①農林水産分野の主要5品目などの聖域の確保を最優先し、それが確保できないと判断した場合は、脱退も辞さないこと。
②国民への十分な情報提供を行うこと。
などの決議を行っているが、本市議会としても、政府に対し、これらを必ず実現することを求めるもの。

(提出先) 内閣総理大臣、経済再生担当大臣、農林水産大臣
外務大臣、経済産業大臣、内閣官房長官

全会一致

意見書を可決



会計名	当初予算額	賛否表 (宇田議員は議長のため、表決には参加しない)																結果							
		中村	島中	留盛	橋口	黒田	下御嶺	山口	出水	上園	門松	坂口	花木	並松	大園	漆島	中島		田畑	池満	長野	松尾	成田	宇田	
一般会計	231億1000万円	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
国民健康保険	63億5994万円	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
公共下水道事業	6億4125万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
農業集落排水事業	3745万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
国民宿舎事業	2億2972万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
健康交流館事業	1億1672万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
温泉給湯事業	496万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
公衆浴場事業	1028万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
飲料水供給施設	65万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
介護保険	54億921万円	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
後期高齢者医療	6億5815万円	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

水道事業会計

収益的収入	8億4032万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
収益的支出	8億1981万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

討論

一般会計

賛成

財政健全化に努め、限られた財源で将来を見据えた計画的な予算である。
小学校6年生までの乳幼児医療費助成の拡大や住宅用太陽光発電設備設置への助成など人や環境にやさしい予算と考える。

反対

人権事業費の補助金は特定の団体へ支払うので、税金の使い道としてふさわしくない。
就学援助制度は、このままでは不十分で、部活動費、PTA会費など必要保護世帯へも支給すべき。

国民健康保険

賛成

医療費抑制のために、特定健診の推進や重複・頻回受診の指導、ジェネリック医薬品の普及など計画されている。
また、低所得者に配慮した保険料軽減の保険基盤安定制度などを活用しながら、一般会計からの法定外繰り入れもしている。

反対

高すぎる国保税の引き下げは市民の願いである。一般会計からの繰り入れの増額を検討すべき。
また、国へ国庫支出金の増額を要求することが大事。

介護保険

賛成

居宅介護サービス、施設介護サービスに対する利用者負担の軽減措置、地域密着型の地域支援介護予防事業など、介護保険サービスの充実を図っている。

反対

後期高齢者医療保険料の値上げが行われる。制度そのものが高齢者を75歳で切り離し、差別している。
高齢者のほとんどは年金受給者で、年金は減ってきており、消費税の増税と合わせて保険料が上げれば生きていけない。

反対

相次ぐ介護保険制度の改正で現場は振り回される。
介護保険料、利用料の引き下げが必要。

後期高齢者医療

賛成

後期高齢者医療制度の運営は、県内43市町村の広域連合で行っている。本市は保険料の徴収業務や重複・頻回受診者の訪問指導等の健康診査だけである。

有害図書から子供たちを守ることをお願いする陳情

(陳情書の趣旨) 漫画「はだしのゲン」を市立小中学校、市立図書館から撤去または閲覧制限することを求めるもの。

(提出者) 林田 賢一氏 (伊集院町妙円寺)

「採択に賛成」の討論

法律や学習指導要領にそぐわない図書の購入は、慎重にすべきであり、読みたい本は自由に読ませることは親の責任放棄でもある。

まして過激な表現などがあれば、発達段階に応じて閲覧制限されて当然であり、陳情採択に賛成。

「採択に反対」の討論

一部に不適切な表現があり、発達段階に応じた教育的配慮も必要だが、学校現場で強制的に教材として使用していないことや県の有害図書の指定を受けていないことから、陳情を採択するまでは至らない。

賛成3 反対18



不採択とすることに決定

不採択とすることに決定

介護保険制度「改正」に関する陳情書

(陳情書の趣旨) 平成27年度からの制度見直しは、高齢者を締め出すことにつながるので、改正に反対して国や関係機関に意見書を提出することを求めるもの。

(提出者) 東 親枝氏 (伊集院町郡)

「採択に賛成」の討論

今回の介護保険制度の見直しは、①介護保険から要支援1・2の人を外し、市町村が行う地域支援事業に移し替える。②特別養護老人ホームは中重度介護者に重点化し、要介護2以下の人の新たな入所を認めない。③一定以上の所得者は1割の利用料を2割にする。などであることから、陳情採択に賛成。

「採択に反対」の討論

今回の見直しは、①利用者の使い勝手の良い、かゆいところに少しでも手が届くようなサービスを目指すもの。②施設のベッド数に限りがあり、現在要介護4・5の多くの方が、在宅介護を余儀なくされている以上、軽度要介護者よりも重度要介護者を優先していくことは当然。③より充実した介護サービスと、そのための負担の在り方にバランスを取っていくことは必要。であることから陳情採択には反対。

賛成1 反対20



不採択とすることに決定

「川内原子力発電所1, 2号機の再稼働に対し慎重な対応を求める意見書」採択を求める陳情書

(陳情書の趣旨) 再稼働は、福島事故の原因と実態が徹底的に究明された上で、新たに作られた安全基準をもとに慎重に行うこと。

地震・火山問題や高経年化、故障、運転ミス、転炉などによる重大事故について具体的な対策を講じること。

以上が明らかにされない限り川内原子力発電所の再稼働を認めないよう県知事へ働きかけることを求めるもの。

(提出者) 町田 博文氏 (伊集院町妙円寺)

継続審査 2件、辻 重義氏 (東市来町湯田)、
瀬戸口 勝氏 (伊集院町妙円寺)

(審議の結果) 住民が安全・安心に暮らしたいと願うのは当然であり、悲劇を繰り返さないためにも、拙速な再稼働は行わず、規制体制を確立し、安全・安心の確保を最優先するよう強く要請することは当然。

継続審査の2件の趣旨も同様であるため、趣旨採択すべき。

全会一致



趣旨採択することに決定

※趣旨採択とは、願意は十分理解できるが、すべてを採択することが困難な場合に、「趣旨」を採択するものです。

陳情書を趣旨採択したことにより、議員発議で意見書を2件提案しました。

川内原子力発電所1・2号機の再稼働に対し住民の安全・安心の確保を最優先する対応を求める意見書

(意見書の内容)

①緊急時防除措置準備区域内で公開の住民説明会を開き、再稼働の理解を得ること。

②再稼働については、原子力規制委員会の安全基準をもとに慎重に行うこと。

③地震や火砕流など「想定される重大事故」に対し具体的な対策を講じることなど。

(提出先) 鹿児島県知事

賛成20 反対1



意見書を可決

原発再稼働手続きの前に、汚染水や除染廃棄物の処理及び原発への依存度を下げていくための道筋等を明確にすることを求める意見書

(意見書の内容)

①福島原発事故の十分な原因究明と除染を早急に終了させること。

②汚染水や除染廃棄物および高レベル放射線廃棄物等の最終処分体制の明確化。

③高経年化した原発の廃炉時期と、財源を含めた廃炉工程の明確化。

④再生可能エネルギーの積極的な導入体制の確立。など

(提出先) 内閣総理大臣、経済産業大臣、環境大臣、復興大臣

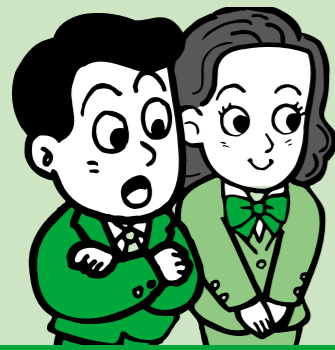
全会一致



意見書を可決

一般質問

これからどうする! 日置市



3月定例会では9人の議員が登壇し、日置市の未来を見据え質問を行いました。

より良い市政を目指して



橋口 正人 議員

①4月に開始する一般住宅用太陽光発電パネルの設置補助制度はいつまで実施するか。
また、制度延長は考えないか。
②太陽光や風力発電などの設置後は、市全戸数の何パーセントの電力量をまかなえるのか。

橋口

質問 1 再生エネルギーを活用した安心安全なまちづくり

【答弁】 住宅用太陽光発電設置補助金を3年間交付する

市長
①平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3年間に日置市住宅用太陽光発電システム設置事業費補助金を交付する。需要が多く見込まれる場合は延長していく。
②太陽光1万4714世帯、水力180世帯、風力3800世帯、合計1万8694世帯(概略)。
日置市内が約2万2000世帯なので、おおよそ70パーセントと予測される。



平成21年7月の伊集院駅北側



整備が進む伊集院駅北側

①伊集院駅の改修に併せて駅周辺の整備を計画することだが、イベント、観光情報の提供や発信、観光地や観光ルート、宿泊施設の紹介等をどのように取り組むのか。
②東市来、日吉、吹上の3地域を取り込んだ観光をどう取り組むのか。

橋口

質問 2 27年度、伊集院駅舎完成後の観光は

【答弁】 観光情報の発信等を担う観光拠点を駅に整備する

市長
①伊集院駅の一角に観光拠点施設の整備を計画している。
施設の担う機能としては、イベント観光情報の提供や発信、観光地や観光ルートの紹介で、運営は観光協会に委託する予定としており、一年を通して対応が可能な施設を目指す。
②本市の新たな観光振興策として、観光協会とも連携し、伊集院駅を起点に、市内各地域に点在する観光スポットを周遊する観光バスツアーなどの企画、運営を行い、入り込み観光客の増を図りたいと考えている。

上園
合併促進政策として、10年間の地方交付税の優遇措置と、有利な起債(財源充当率95%・地方交付税参入率70%)の合併特例債があり、これまで活用してきた。
合併10年目を迎え約19億円の優遇措置が、5年間で段階的に減額され、さらに現在、交付税の不足額を臨時財政対策債で補っている状況である。合併特例債3年据え置

上園

質問 1 将来世代への負担先送りをどう考えるか

【答弁】 新たな財政需要の算定に注視

地方交付税は平成28年度から段階的な引き下げが始まるが、合併時点で想定できなかった新たな財政需要が生じており、これらを算定に反映していくとしているので、今後の国の情報を十分に注視していきたい。
合併した自治体の一本化促進支援のための合併特例債は、平成32年度まで226億6千万円起債可能であるが、全部使うつもりはない。
地方交付税の財源不足を補う臨時財政対策債は、国の定める額の範囲で、借入として活用していく。

市長

の15年償還・平成26年度末残高73億円、臨時財政対策債3年据え置の20年償還・平成26年度末残高99億円と予測される。
今後さまざまな事業計画がある中で、将来世代の政策を拘束する恐れのある負担をどのように考えるか。

上園 哲生 議員



上園
50KW以上のメガソーラー11設備、10KW以上50KW未満の太陽光発電61設備が設置され、新たな事業計画もあるが、市税の財源確保への影響をどのように捉えているか。

上園

質問 2 自然再生エネルギー事業の市税影響は

【答弁】 見込額は約2200万円

平成26年度から課税が始まり、固定資産税において、太陽光パネル等の償却資産で約2千万円、敷地の地目変更によるものが2百万円見込まれる。さらに、本市に新たな事業所が開設されれば、法人市民税も期待できる。
また、個人事業者の余剰電力売却収入も課税対象となり、財源確保への影響は大きいと考える。(その他の質問)
・売却可能な市有地の活用について
・基金活用の在り方は

市長



合併特例債を活用して建設中の伊集院北分団消防車庫



黒田 澄子 議員

質問 1 桜島降灰に対する国への要望書提出を

【答弁】 国への要望書提出に取り組む

1000g以上の降灰がなくても今後も降る可能性があると、指定が継続される仕組みである。国は県知事に意見を聞く体制にあり、それ以外に県知事からの要望書が出たら動く、私の調査に内閣府担当が答えている。

県農政課の測定によると、昭和60年には旧伊集院町で2157gの降灰を記録している。また、他の指定されていない市町でも1000gを超えた記録がある。この法律のもと他の首長と一緒に、県知事に対して国への要望書提出を働きかけてはどうか。

黒田

活動火山対策措置法における文部科学省下の指定地域は、年2回以上の降灰があり、年間の降灰量が1㎡当たり1000g以上となっている。この制度は昭和53年に改正となり、国は昭和53年と54年に県と県内4市町を指定しているが、その後、鹿児島県に調査をした様子がない。指定されるとその後

市長

これまでも学校への空調等の設置に対して13市長と平成24・25年度に文部科学省・県知事・県選出国会議員への要望書を提出してきた。措置法の仕組みをしっかり理解し、今後要望書提出に取り組む。



島中 弘紀 議員

質問 1 郡中央通り線街路事業の見通しは

【答弁】 平成28年度に工事完了の予定

となり、危険性が增大している。残り区間の伊集院自動車整備工場前から徳重機整備工場前までの工事完了の見通しは。

市長

郡中央通り線については、都市計画道路として事業認可を受けて鹿児島県が事業を実施している。事業認可延長960mの内、平成16年度から平成25年度まで540mが完了する。

残り410mについては、計画の見直しが行われ、道路総幅員17mが12mに、車道部は9mが7mに、歩道は4mが2.5mに変更し、線形も一部見直されている。現在12月に住民説明会が開催され、2月7日に鹿児島県の都市計画審議会に諮問された。

市長

今後は、事業認可を経て、用地買収に着手し、平成28年度で、工事を完了する予定。



歩道のない郡中央通り線

質問 2 ロコモ(運動器症候群)の予防は

【答弁】 今後は予防法の普及啓発に努める。

島中

「ロコモ」とは骨・関節・筋肉などの運動器が障がいのために衰えて動作が困難になり、要介護状態や、要介護状態になる危険の高い状態をいう。「ロコモ」の予防について本市ではどのような取り組みをしているのか。

市長

「ロコモ」予防のための栄養講話や運動指導を実施している。(その他の質問) ・障がい者雇用の促進状況は

ボトルネック

道路的部分的な幅員減少で車の流れが阻害されている様子。

質問 2 ふるさと納税の拡充に取り組まないか

【答弁】 日置市でも3千円のお礼の品を送る

市長

2億1000万円の実績を出している。このうち1億円は10万円寄付で、年12回、3000円程度の特産品をお礼に送っている。本市も積極的に取り組まないか。

黒田

ふるさと納税制度は税控除のメリットがあり、市町村においては、貴重な財源となる。玄海町においては、5000円、10万円、100万円とコースをつくり、平成26年2月時点で

質問 1 オリーブ植栽の選定方法は

【答弁】 熟練した果樹農家から選定する

市長

大きなリスクを伴うので、専門的な経験や技術を備えている市内各地の熟練した果樹農家から選定する。また、3年以内に5000本程度の植栽を予定している。

市長

市道中川線は、現在改良中で、国道3号を含めた交差点改良工事となり、国土交通省絡みで、進めにくいと思うが、いつ頃完成を見込んでいますか。また、市道下神殿・田代線は、起点側と終点側の工事に着手している。地域住民は早い完成を望んでいるが、いつの完成予定か。

市長

道路に関しては、近年改良率より舗装率を上げることが大切である。維持・補修が中心で、各地域で5年計画を立案し、それに沿って地域のバランスを見ながら進めていく。

質問 2 市道中川線の交差点改良の完成は

【答弁】 平成26年度の工事完成を目指す

下御領

改良工事は、合併当初から減少傾向である。道路の路面が老朽化し、維持・補修に移行しつつあるかどうか。

市長

新規計画で、下神殿公民館前の市道下神殿線の改良工事を望む声も多い。また、地域住民の強い要望でもあり、早急な対応が望まれる。

市長

下神殿公民館前の道路は狭いと認識している。用地の問題もあり、地元との協力を得ながら、早急に対応していく。



市政要覧で紹介されている日置市の特産品の数々



下御領 昭博 議員



中川線の国道3号線交差点改良箇所



山口 初美 議員

質問 1 宅配給食は休みなし
で実施すべきでは

【答弁】
日曜日は、家族や親せきの
見守り交流を

を行い、26年度は634
0万1千円の予算が組ま
れている。
休みなしで実施してい
る自治体も増えているよ
うだ。
休みの日は困る方もあ
るようなので、休みなし
で実施すべきではないか。



愛情のこもったおいしいお弁当を
お届けしています

質問 2 消費税増税分の国保
税引き下げを

【答弁】
国保税引き下げに充てる考
えはない

26年度予算においては、
地方消費税交付金の社会
保障財源化分4800万
円を、障害者自立支援給
付金に3800万円、障
害児通所給付費に100
0万円充てているので、
国保税引き下げに充てる
考えはない。
(その他の質問)
・茶業振興策について
・原発問題について
・市の非正規職員の処遇
改善について



坂口 洋之 議員

質問 1 学校再編計画の今後
の進め方と方針は

【答弁】
6月までに再編基本計画を
作成したい

学校・保護者・地域に
再編計画を説明し合意形
成の中で進めたい。
22年からの学校在り方
検討委員会から、地域を
まわり、保護者や地域の
声を聞いてきた。
少子化で統廃合を望む
保護者や学校を残してほ
しい地域の声、多種多様
な意見を整理・統合しな
ければならないと考える。
伊集院小の増加は、利
便性や若い世代の生活ス
タイルの変化と考える。
1学級20人以上の根拠
は、グループ同士の活動
と意見反映ができる。
中学校の1学級では専
任教科の職員配置ができ
ない現状がある。
学校再編計画は基本指
針に沿って示し、日吉・
吹上は小学校1校で示す。

校は1学年20人以上、中
学校、1学年2学級以上
と示すが、根拠は何か。
少子化で学校再編を望
む保護者の声は理解でき
るが、日吉・吹上地域の
疲弊を考えれば、複数校
残すべきと考えるが。

坂口

過疎化が進む吉利地域
では、店やガソリンスタ
ンドが無くなり、今度は
学校の統廃合の話もある。
統廃合の地域のリスク
も検証すべきと考える。
教育長は、地域の声を
どう把握しているのか。
伊集院小は年々増加、
周辺の学校は児童減が進
むがどう分析するか。
学校の在り方指針の望
ましい学級規模は、小学

質問 1 若者に魅力ある地域
づくりは

【答弁】
雇用の創出と子育て世帯が
住みよい環境

①定住促進対策補助金の
交付や公営住宅建設など
で一定の効果。
②育児等の不安に対し、
子育て支援センターを設
置し、さらに、子育て支
援計画を策定予定。
③起業を目指す若者への
支援を行っている。
大型店舗の進出やコン
ビニの出店等があり、雇
用の創出、生活環境の利
便性向上等を今後も継続
④実情を見つめ直し、将
来の目標に向けて行動力
等を身につけてほしい。
⑤今後も市道整備、周辺
環境整備、観光産業の振
興、特産品のPR等推進
し、交流人口の増加を図
る。



地域子育て支援センターの活動の様子

市長

⑤来なくなる日置市をつ
くるための政治姿勢は。
①若者に魅力ある地域づ
くりのための政策実行と
その効果は。
②本市の少子化の現状と
課題にどう向き合うか。
③若年層の流失に歯止め
をかけるために、仕事と
生活環境の整備をどう進
めているか。
④グローバル時代に生き
抜く若者へ、どんなメッ
セージを発するか。

質問 2 本市での生活困窮者
への自立支援は

【答弁】
生活困窮者自立促進支援モ
デル事業を実施中

①自立促進等を強化し、
制度が市民の信頼に込め
られるよう取り組む。
②平成24年6月をピーク
に微減傾向で、26年1月
は378世帯593人。
③2業者に委託して就労
準備支援事業を実施中。
④ハローワークと連携し
た就労支援を実施中。
⑤地域包括支援センター
で高齢者やその家族に相
談窓口を開設している。
(その他の質問)
・東京オリンピック・パ
ラリンピック、鹿児島国
体に向けての対応は

坂口

質問 2 原発の再稼働への
住民説明会開催を

【答弁】
知る権利の中で説明会を
求める

再稼働の自治体の合意
について、県や薩摩川内
市だけでなく日置市とし
て合意形成を求めていく
べきではないか。
また、再稼働への住民
説明会を求めていくべき
ではないか。

市長

再稼働についての市民
の知る権利の中で、住民
説明会の開催を求める。



統合を行った旧皆田小学校



田畑 純二 議員

田畑

①生活困窮者自立支援法
と生活保護法改正にどう
向き合うか。
②本市の生活保護受給者
数と最近の動向はどうか。
③民間団体と連携し、生
活保護受給者の総合的な
自立を支援しては。
④大阪府内の全市町村の
ように本市でも地域就労
支援事業を展開しては。

川内原発の再稼働につ
いて国の安全審査の認定
が申請され、6月以降に
再稼働の動きがある。
福島原発の原因究明や
具体的な広域住民避難計
画が示されない中での、
再稼働の動きであり市民
からも安全に対する不安
の声もある。



花木 千鶴 議員

質問1 オリーブ六次産業化の現状と今後は

【答弁】 栽培拡大から収益体制等を構築する

本市でオリーブに取り組む狙いの一つに、国内産オリーブ需要の高まりにある。しかし、すでに小豆島だけでなく特に九州各地で産地が誕生し、商品化も進んでいる。そこで、他の地域との違いを売り出す差別化をどのように考えているか。平成25年度予算化した商品開発の現状と今後の取り組みはどうか。本市にはオリーブ以外の農作物も多くある。そのような作物や農家の六次産業化への支援はどのように考えるか。

今後、野村アグリプラニンングや小豆島のオリーブ農家からの指導・助言を受ける。農林水産課にオリーブ担当者を設置し、農林水産課が主として進める。研究会では、植栽ほ場の選定や施肥管理、剪定の技術の習得等を行う。業務協力機関の協力で、市内での搾取や加工・販売の事業主体を誘致し、それらを一貫体制とすることで差別化を図る。

商品開発ではメニュー開発でレシビもできた。今後、レトルト食品の商品化も検討する。市内の農産物六次産業化は、加工グループや地元の商品関連企業、直売所などとの連携を支援していく考えである。

花木

鹿児島銀行・野村證券と包括的業務協力協定を結んでいるが、その現状と取り組みはどうか。大学ほか、各種研究機関との連携はどうか。協定の窓口は企画課だが、実証栽培は農林水産課が担っている。今後の進め方はどうか。平成26年度に立ち上げるオリーブ研究会はどのように進める考えか。

市長

オリーブの新商品や新技術等の開発支援、販路や事業拡大、成長支援を目的に協定を結んだ。今後は、市は実証栽培や農家との研究会設立、栽培指導等を行う。鹿児島銀行・野村證券は、加工・商品化、収益体制の構築を図る。研究機関としては、宮崎大学や鹿児島大学から指導を受けた。



実証栽培されているオリーブの木

所管調査

所管する施設等の状況は

総務企画

1月28日、防災行政無線や坊野地区公民館の事業等の取り組み状況等を調査しました。

防災行政無線大峯ヶ原中継局予定地

デジタル防災行政無線整備工事において、東市来地域大峯ヶ原にデジタル波用の防災行政無線の中継局を26・27年度で設置を予定している。

現在設置されているアナログ波の設備と交換するもので、県警のアンテナが隣接されており、条件的に最適な場所と考えられる。

坊野地区地域協働の仕組みづくり事業

JAさつま日置扇尾支所跡を販売拠点店舗に整備して、坊野地区の「べっぴんさん味噌」や「加工食品」、また扇尾地区の「しんこだんご」等の販売を通じて地域の活性化をはかる。



チャレンジショップ「銀天のたまご」

高齢化社会が進む中で、地域が一体となって活性化に向けて取り組んでいる。銀天のたまご支援事業

25年度の新規事業で、伊集院地域の空き店舗を再活用したチャレンジショップで銀天のたまごが誕生した。日置市商工会が主体となり、事業を展開する。当初4店舗で始める予定だったが、3店舗でオープンした。火気厳禁のため限られた内容の事業しか展開できないが、他の3地域にも広げてもらいたい。

所管調査

オリーブの栽培管理は

産業建設

2月6日、東市来地域のオリーブ実証ほ場で植栽管理について調査を行いました。

オリーブの推進状況

生育状況について、全体的に生育がよく見受けられた。今後、ハウス栽培と露地栽培の比較調査のための整備を進めて行きながら、生育や病害虫についての研究を行う。

苗木の選定については、購入先も含めて調査・検討し、26年秋から27年に向けて、植栽を推進していくとの説明を受けた。

委員の意見

市が進める本事業は、気候や土壌、害虫対策など課題が多いが、市民の期待も高く、栽培技術および研修報告会等を市民に対して実施すべきである。

オリーブの生産については、市民の意識が高く、注視されている。市が先導するこの事業は、課題も指摘されていることから、しっかりとした生産技術を早く確立し普及につなげていくために、今後一層の先進地との連携や関係機関との研究が重要である。



オリーブ栽培について説明を受ける

あなたも、議会を傍聴してみませんか。

市議会は、市の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。

是非、傍聴においでください。

市民のみならず、市内の公共施設で議会中継を見ることができます！

次の場所で議会中継を行っています

市役所本庁1階ロビー、各支所1階ロビー、各地域中央公民館、各地区公民館、美山陶遊館、ゆすいん、吹上砂丘荘

【問い合わせ】 議会事務局 TEL 248-9435



50席ある傍聴席

学校の社会科見学や自治会、PTA等の研修でぜひ傍聴にお越し下さい。



あんこちゃ

どげんなった?



乳幼児医療費の無料化を 拡大すべきでは

少子化が進む中で、子育て世代の医療費負担の軽減を図る考えはないか。

【平成21年12月から25年6月まで
計8回質問】

市長の答弁は

26年度から小学校6年生までの 無料化を検討したい。

26年度から小学校卒業まで医療費無料化ができないか財政状況を含めて検討していきたい。

【平成25年6月に答弁】

その後、こうなりました!

小学校卒業まで医療費の無料化へ!

26年10月から現在の小学校就学前までの乳幼児医療費の無料化が、小学校6年生までの無料化に拡大します。

太陽光発電設備設置の 補助制度の充実を

太陽光発電に本市独自の補助金制度を考えないか。

【平成21年9月から25年12月まで
計6回質問】

市長の答弁は

26年度から実施したい。

地球温暖化防止策や再生可能エネルギー活用の一環として26年度から実施したい。

【平成25年12月に答弁】

その後、こうなりました!

補助制度の新設へ!

平成26年～28年にかけて、住宅用太陽光発電システム設置事業補助金を交付し、地球温暖化防止及びエネルギー自給率の向上に努める。

単独浄化槽から合併浄化槽への転換に 支援を行う考えはないか

日置市のきれいな水を守るため、単独浄化槽から合併浄化槽への転換にさらに支援をしていく考えはないか。

【平成23年6月質問】

市長の答弁は

単独槽から合併槽への推進を していきたいので、検討していく。

単独槽から合併浄化槽への推進をしていきたいので、地元業者の育成も含めて、検討していく。

【平成23年6月に答弁】

その後、こうなりました!

市内業者施工で補助金上乘せへ!

26年度から汲み取り便槽または単独浄化槽からの切り替え等で市内業者施工の場合、補助金基本額に20万円上乘せされます。

伊集院駅に観光案内所の設置を

伊集院整備により観光の推進拠点になる観光案内所の設置を考えないか。

【平成22年6月、平成22年12月、
平成24年9月質問】

市長の答弁は

観光案内所を設置したい。

伊集院駅周辺整備で観光案内所を設置したい。

【平成24年9月に答弁】

その後、こうなりました!

伊集院駅前に観光情報拠点施設を 整備へ!

伊集院駅周辺整備事業に合わせ、伊集院駅前に観光情報拠点施設を整備します。(26年度は地質調査および設計委託)

議会報告会を開催しました

4会場152人参加

1月29日から2月7日にかけて、4地区4会場で議会報告会を開催しました。
 市政に関する情報を議会の視点から報告し、また、市民の皆様と意見交換を行いました。
 議会改革や財政・福祉に関する質問や意見等のほか、道路等の身近な要望も出されました。

市政や議会に対する 主な質問・意見

今回いただいた、市政に関するご質問やご意見は、各委員会等で所管事務調査等を行いながら、市当局と議論を重ね、課題解決に努めてまいります。
 ここでは、ご質問やご意見の一部を抜粋したものを紹介いたします。

伊集院地域

問 議員の定数について、先の選挙も無投票だったが、15人でもやっていけるのではないかと、立候補者が出やすい雰囲気をつくらなければならず、ただ減らしにくいのかどうかは疑問。
答 議会改革特別委員会で検討する。

問 若者定住促進について伊集院地域だけ補助金の適用がないが、どう
答 日置市中央図書館の整備について、担当課職員の対応が分かりにくい点が多いため改善を要望する。
答 職員の対応については教育委員会に議会として伝える。

問 土橋地区の市営住宅について、25年度の建設の予定であったが、施工が遅れている。いつ完成の予定か。
答 大震災後に国の予算が8割となつて施工が遅れた。早期完成を当局に要請する。

問 日置市中央図書館の整備について、担当課職員の対応が分かりにくい点が多いため改善を要望する。
答 職員の対応については教育委員会に議会として伝える。

問 伊集院駅の自由通路はいつ完成するのか。
答 駅改修は27年度末で全て完了する予定。自由通路の工事期間は1年程度だが、周辺の工事の関係もあるため、総合的な完了後になると思う。
 (アンケートから)
 ・今後も継続して開催してほしい。

問 ゆーぷる吹上が直営になると聞いたが、形態や従業員など変化があるか。
答 調理長や支配人は変わらない予定であり、これまでと変わりなく利用できる。

問 オリーブはどうなっているか。
答 地中海気候と違う本市で育つか危惧する。果樹農家の高齢化や荒廃地対策として取り組むもの。
 本市に適応する品種について、養蚕試験場跡地で試験栽培を行っている。

問 本市では県議会議員選挙2回、市長選挙、市議会議員選挙も無投票だった。
答 市民は大切な選挙の機会を失ったと感じるが、議員はどう思うか。
答 個人的見解であるが、政治を志す人が立候補しやすい土台作りが必要と考える。
 現在、議会改革特別委員会で審議している課題でもある。

問 鳥獣害対策として、地域で15〜16人が免許をとったが、市でも箱わなを購入してほしい。
答 鳥獣害対策では、県とは別に国からの補助が出るようになった。猟友会の高齢化も進んでいる。
 箱わな等の購入についての意見は市当局へ伝える。
 (アンケートから)
 ・報告会は、可能な限り議会ごとに開催してほしい。
 ・意見交換の時間をもっと増やしてほしい。

問 緑ヶ丘団地の道路が通行止めになっている。
答 1路線では災害対応への不安もあるため、早急に改善してほしい。
答 現場を見て早急に対応したい。

日吉地域



問 日吉庁舎の建て替えの進捗状況は。
答 11月に提出された提言をもとに、庁舎整備検討委員会で検討している。
問 26年度設計、27年度建設を予定しているが、延びる可能性もある。
答 小学校再編について、小学校が無くなれば地域はさびれる。
問 定住化のためのふるさと団地の造成や公営住宅の建て替えを検討してほしい。
答 学校再編については、

問 日吉地域のバスの在り方検討委員会の状況は。
答 コミュニティバスの利用が少なく、4月から乗り合いタクシーが検討されている。
問 物産館の横の建物はどうのように活用されているか。
答 県の補助事業で建設され、物産館の利用者の休憩やイベント活動などで利用されている。

問 吹上地域の農業開発総合センターにオリーブの研究委託は考えていないのか。
答 今のところ鹿児島銀行、野村證券と研究を重ねている。
問 研究会を立ち上げて、研究を進めていく予定である。
問 小水力発電や太陽光発電など、各地ばらばらに業者が取り組んでいるようだ。
答 今後、行政が計画・開発することについて議会の考えはどうか。

問 吹上浜公園のテニスコートの数が少ない。
答 また、体育館の空調もないため、大きな大会を誘致できない。
問 施設の充実を図り、地域活性化につなげられるよう要望する。
答 要望のあったことを市当局へ伝える。
 国体誘致に向けて様々な施設の整備を考えているようで、今後の計画で出てくると思う。

問 年金生活者にとって介護保険料が高く、生活を圧迫する。
答 できるだけ経費を減らして保険料の削減をしてほしい。
問 市町村によって保険料に差がある。
答 国民健康保険制度も含めて、国に制度改革を呼びかけたい。
 (アンケートから)
 ・もっと充実した内容の濃い資料がほしい。
 ・高齢者のために、昼間の開催も考えてほしい。

吹上地域



問 日置市の財政状況は。自主財源も3割弱の中、国の交付金も今後削減されて厳しい現状である。
答 (アンケートから)
 ・市民の身近に感じられる会にして建設的意見がほしい。

問 緑ヶ丘団地の道路が通行止めになっている。
答 1路線では災害対応への不安もあるため、早急に改善してほしい。
答 現場を見て早急に対応したい。

議会インターネット 映像配信 始まりました。



平成25年12月定例会より、議会中継のインターネット配信を始めました。本会議中の生中継のほか、録画中継の配信も行っております。録画中継は、いつでもご覧いただけますので、ぜひご活用ください。(録画映像は、本会議の3日後から配信)

議会インターネット中継は、市ホームページからアクセスいただけます。

今号から広報誌のタイトルを「ぎかいのとびら」に刷新しました。市民の皆さまに議会を身近に感じていただけるよう、今後も努力してまいります。

編集後記

みごとに咲いていた桜もアツという間に葉桜になってしまった。
3月には、市内中学校の卒業式が行われ、485人が巣立った。
4月には、ピカピカの小学1年生462人の入学式が行われた。
この子どもたちのうち、何人が大人になって「日置市」に残ってくれるのだろうか。
毎年、減少している本市の人口、この子どもたちに何とか地元に残ってもらえないか。

定住を図る政策として、子育て支援や後継者への支援等が予算化されているが、まだ弱い印象である。
議会として対策を講じながらも、市民の皆さまのお知恵をお借りして若者たちの人口増につなげ、活気のある日置市にしたいものである。

(留盛)

《発行責任》 宇田 榮

《編集責任》 宇田 榮

広報編集委員会

委員長 下御領 昭博

副委員長 黒田 澄子

委員 池満 洋子

委員 坂口 浩一

委員 留盛 司郎

中留坂池黒下
村盛口満田御
尉浩洋澄昭
司郎之涉子博